

## 平成 17 年度 第 3 回 函館市恵山地域審議会会議録

開催日時	平成 18 年 3 月 29 日 水曜日 14 時 00 分 ~ 15 時 30 分
開催場所	函館市恵山支所 2 階 大会議室
内 容	<p>議 題</p> <p>( 1 ) 前回の意見等の集約結果と取組状況について</p> <p>( 2 ) 平成 18 年度事業計画について</p> <p>( 3 ) 平成 18 年度地域審議会開催スケジュール(案)について</p> <p>( 4 ) 地域振興全般に関する意見交換について</p> <p>( 5 ) その他</p>
出席委員	<p>齊藤会長 藤原副会長 松浦委員 二木委員 東福委員 中村委員 横手委員 及川委員 佐々木委員 上遠野委員 (計 10 名)</p> <p>・報道関係 函館新聞社 (計 1 社)</p>
欠席委員	齊藤委員 湊委員 芹田委員 成田委員 竹内委員
事務局の出席者の職氏名	<p>工藤 篤 恵山支所長 梅田 誠治 企画部地域振興室長 沢田 弘政 恵山支所地域振興課長 池田 達也 企画部地域振興課主事 小田 千里 恵山支所住民サービス課長 高 裕彰 恵山支所保健福祉課長 成田 正義 恵山支所産業課主査 木村 周治 恵山支所建設課長 辻 菊博 恵山支所産業課主査 大坂 光秋 恵山教育事務所副所長 吉田 孝道 恵山支所産業課主査 中野 文治 恵山高等学校事務長 笹田 英一 恵山共同給食調理場長 佐賀井 学 恵山支所地域振興課主査 松本 勝則 恵山病院事務長 田中 修一 恵山支所地域振興課主事 (計 16 名)</p>
1 開 会 ( 14 時 00 分 )	

2 会長あいさつ	
斉藤会長	(あいさつ)
3 出席委員の報告	
斉藤会長	会議次第の3 出席委員の報告の前に、委員の変更があったので、事務局から報告させる。
事務局	当地域審議会の三好みゆき委員が、恵山区域外に転居したことから、地域審議会の設置に関する規程第6条第3項の規定により、平成17年11月24日付けで解職となり、新たに中村恵津子さんが委員となったので、報告する。
斉藤会長	<p>それでは、ただいまから、平成17年度第3回函館市恵山地域審議会を開催する。</p> <p>会議次第の3 出席委員の報告について、本日の出席委員は10人と、過半数を超えているので、地域審議会の設置に関する規程第8条第3項の規定により、会議は成立した。</p>
4 議 題	
	(1) 前回の意見等の集約結果と取組状況について
斉藤会長	会議次第の4 議題(1)前回の意見等の集約結果と取組状況について事務局から説明させる。
事務局	(説明) 前回の意見等の集約結果と取組状況について
斉藤会長	何か質問、意見はないか。
松浦委員	つつじ公園のツタ類の駆除についてだが、植物は、夏場に栄養分を蓄える。そのため、8月頃に駆除すれば体力が衰え、次の年には小さくなる。これを数年続ければ駆除できる。5月だと早すぎ、11月だと遅すぎるので、時期を再考してほしい。また、ボランティアの協力について、理解を求めれば可能と思うので進めてほしい。
成田主査	貴重な意見をいただいた。今後、参考にして進めたい。

	( 2 ) 平成 1 8 年度事業計画について
齊藤会長	続いて、議題(2)平成 1 8 年度事業計画について事務局から説明させる。
事務局	( 説明 ) 平成 1 8 年度事業計画について
齊藤会長	何か質問、意見はないか。
上遠野委員	事業計画一覧を事前に配っていただくことはありがたいが、私たちがこの資料を見ても具体的な事業内容がわからない。そのため、審議会に出席しても質問のしようがない。資料には、もう少し具体的で親切な説明を記載してほしい。
事務局	今回説明したこと程度の内容であれば可能であると思うので、今後は、要望に添うようなかたちで進めたい。
佐々木委員	「観光の振興」のなかに、「冬季観光客、修学旅行の誘致ほか」とあるが、どのようなことなのか。
成田主査	函館市全体の予算であり、恵山地域には該当ということである。
佐々木委員	個人的には、恵山地域でもできることだと思う。獲れた魚をその場で調理し、食べさせることもできるのではないか。また、修学旅行の誘致だが、旧モンテローザがあった頃は、多くの修学旅行生が訪れていた。恵山にもよんでほしい。
梅田室長	市全体では年間約 5 0 0 万人の観光客が来ているが、大多数は夏場である。そのような中で、冬季の観光客をいかに多く呼び込むかということで、首都圏内にポスターやリーフレットを配っている。 修学旅行の誘致については、東北地域を対象に観光キャラバンというかたちで動いている。 また、恵山地域での観光についてであるが、一つの大きな課題として恵山山麓の活用をどのようにしていくのかがテーマとなっている。

	( 3 ) 平成 1 8 年度地域審議会開催スケジュール(案)について
斉藤会長	続いて、議題(3)平成18年度地域審議会開催スケジュール(案)について事務局から説明させる。
事務局	(説明) 平成18年度地域審議会開催スケジュール(案)について
斉藤会長	何か質問、意見はないか。
佐々木委員	この1年委員をしての感想であるが、委員の方々は、公募や各団体から選出されているが、出席しない方や意見を述べない方がいるので、できる限り出席し、発言してほしい。
	( 4 ) 地域振興全般に関する意見交換
斉藤会長	次に、議題(4)地域振興全般に関する意見交換に入る。事務局から何か補足することはあるか。
事務局	合併から1年余りを経過したが、今後の地域振興に関する意見・提言、住民サービスなどで普段から疑問に感じている点などについて意見を出していただきたい。
斉藤会長	何か意見等はないか。
二木委員	風力発電についてであるが、昨年12月から動いていない状況である。故障と思うが、4か月間も停止しているのはどうしてか。
工藤支所長	昨年12月9日に故障したが、担当者での復旧ができず、メンテナンス業者に依頼したところ、インバータという制御回路部分が焼けているとのことだった。しかし、その部分はブラックボックスと呼ばれ、製造元の機密に属するため、むやみに手をつけられなかった。輸入代理店を通じてドイツのメーカーに問い合わせたところ、クリスマス休暇、正月休暇により連絡が取れず、1月末にようやく連絡が入り、現地調査をしなければわからないとのことだった。その後、本庁とも協議してきたが、調査をしてもらうのにも多額な調査費がかかるとのことで、いろいろな選択肢を考え協

	<p>議をしている最中である。</p>
二木委員	<p>風力発電運営は、4か月も故障し、さらに検討している最中ということは、当初の計画が崩れていると理解する。故障の調査に相当な費用がかかるということだが、調査をしなければ修理にどの程度費用がかかるのかわからない。ぜひ、前向きに検討していただき、その結果、莫大な費用を要するのであればその時点でまた協議をするべきではないか。</p>
工藤支所長	<p>その通だと思う。そのような方向で進めたい。 当初、風力発電施設がこんなに故障の多いものとは想定していなかった。国からの補助金をもらって行っているので、補助金を返還することのないように進めたい。もう少し時間をいただき、後日報告したい。</p>
松浦委員	<p>昨年7月の地域審議会において、鹿の駆除をお願いしたところであるが、この地域でどの程度の駆除数があったのか教えてほしい。</p>
吉田主査	<p>昨日までの段階で6頭である。</p>
藤原副会長	<p>函館市の財政状況が厳しいため、4支所の職員を60数名削減すると新聞に載っていた。過疎化、少子化といわれる中で、支所の職員が減り、さらに市内に移住する方が多くなると思う。 市では西部地区で定住促進の取り組みをされているが、伊達は季候が良く、定住に向いているといわれている。この地域も、気候が良く、海も山もあり他の地域に負けないと思っている。支所として定住促進をどう考えているのか。</p>
工藤支所長	<p>支所では60数名の職員削減であるが、函館市全体で600人の削減であり、支所だけ減るわけではない。また、支所は、住民サービスの低下を招かないことと地域振興を図るという2つの重要な機能をもっているが、合併して一つの自治体であることから、スケールメリットを生かした職員の削減も進めていかなければならないと思う。 合併前は、財政が厳しかったことから、合併をしてもしなくても、職員の削減は避けられないと話をしてきた。そのような実態であったし、それが一つの要因として合併に踏み込んでいったことは事実である。 平成17年の国勢調査の結果、前回より500人以上減っている。単独で進んだ場合、交付税が1億2千万円ほど減るという状況になる。 定住促進については、難しい状況だと思う。気候、地価、交通機関など</p>

	<p>知れ渡っていないのは事実である。合併後，旧市内の方々に少しずつ理解されてきたので，今後も努力していきたい。</p> <p>それと，恵山山麓について，可能であれば地域振興のための開発に向け努力していきたい。また，民間活力の導入も進めていきたい。</p>
東福委員	<p>先日，道の方針として恵山高校と戸井高校との統合について新聞報道されていた。受験者数は恵山高校が多く，道の方針がもっともだと考えている。支所はどのような考えで，どう対応するのか。</p>
工藤支所長	<p>恵山高校は，市立高校であり，道立高校の再編には含まれない。</p> <p>しかし，高校の適正化計画があり，2年連続20名を切ると，3年目から募集停止になる。中学校の卒業生数をみた場合，来年20名を超えとは考えられない。戸井高校も同じ状況である。地域住民としては，戸井・恵山・楸法華地域に高校を存続させたいという願いがある。そのため，本庁教育委員会と協議して進めていきたい。</p>
二木委員	<p>病院の関係であるが，このまま市立病院として進むのか不安があるが，地域としては継続的運営を図っていただかなければならない。しかし，採算性が求められていくことから，患者数の確保が第一になる。そのためには，信頼のできる医者数の確保が不可欠である。今後，院長をはじめ医療に関わる方々の努力に期待したい。</p> <p>参考までに，合併する前と合併後の収支状況を教えていただきたい。</p>
松本事務長	<p>平成16年度と17年度の比較では，患者数も収益も横ばいである。横ばいといっても，不良債務があることから，病院経営としては良い状況ではない。しかし，16年からみると専任医師が4人に増えたことから，若干患者数が増えている。</p> <p>今後の医療行政について，函館病院を中心として公営企業の全部適用し，恵山病院，南茅部病院，函館病院のあり方を1年かけて協議していくことになる。</p>
佐々木委員	<p>昨年秋の移動市長室において，市民センターに露天風呂をつくってほしいとお願いした。市長は，快く引き受けてくれたと感じているが，その後何の動きもなく，予算にもない状況である。次回までに市長からの返事をいただきたい。</p>

事務局	<p>現在，市民センターと御崎の浜の湯を提供しているが，市民センターについては，シャワーの出が悪かったり，管が詰まったりしており，それらに対処するのに精一杯という感じである。また，浜の湯においても管が詰まっているようなので，18年度で調査することになっている。</p> <p>露天風呂の事業費は，2千万円から施設により1億程度かかる見込みである。建設計画などにも載っていない状況で実施するのは困難であると考えられ，現在提供している施設の円滑な運営をしていくことが良策と判断したので理解願いたい。</p>
上遠野委員	<p>海の生体科学館について，私はあまり賛成していない。年間1億程度の赤字が見込まれる。そのような事業を組みながら，人件費を削減するという事で帳尻を合わせる市の政策に整合性が感じられない。その後の計画がどうなっているのか教えてほしい。</p>
梅田室長	<p>今年度中に基本計画がまとまれば，18年度に市民へ基本計画を説明し，意見をいただくことになっており，そういった経費だけ予算を組んでいる。実際に建設に向かったの予算組みはされていない。海の生体科学館の考え方は，合併を一つの契機にし，5地域がそれぞれ海を基盤に発展してきたなかで，市民が楽しめ，子供たちが学習する施設があってもよいのではないかと進められてきた。</p> <p>19年度は統一地方選挙があるため，当初予算は骨格予算となり，政策予算は市長選挙が終わってからとなる。</p>
斉藤会長	<p>以上で，本日の日程はすべて終了した。</p> <p>次回の開催は，7月を予定している。</p> <p>日程，議題内容については，正副会長に一任願いたいと思うが，よろしいか。</p> <p>平成17年度第3回函館市恵山地域審議会を終了する。</p>
5 閉 会 ( 1 5 時 3 0 分 )	